

【江戸川区】

校務DX計画

令和7年3月
江戸川区教育委員会事務局
教育推進課

■ 校務DX計画 目次 ■

1 本区における「校務（系ネットワーク）」を取り巻く現状

- (1) 校務系ネットワークと学習系（GIGA）ネットワークの関係性
- (2) 校務のクラウド化
- (3) 勤怠管理システムの導入
- (4) DXを活用した教育委員会との連携
- (5) 学校・保護者間連絡手段のデジタル化

2 本区における「校務DX」計画

- (1) 校務系ネットワークと学習系（GIGA）ネットワーク統合の検討
- (2) 校務のクラウド化
- (3) 勤怠管理システムの運用
- (4) デジタル化された学校・保護者間連絡手段の更なる機能強化
- (5) その他

I 本区における「校務（系ネットワーク）」を取り巻く現状

(1) 校務系ネットワークと学習系（GIGA）ネットワークの関係性

校務支援システムと学習系（GIGA）システムの調達時期の違いから、ネットワークの統合が図れておらず、学習データのやり取りを含め、連携が実現できていない。

また、教員用タブレット端末（1人1台端末）も学校職員には配付されておらず、可搬式のタブレット端末を効果的に活用したペーパーレスが達成できていない。

(2) 校務のクラウド化

本区では学校教育情報セキュリティポリシーにより、校務でのクラウド利用は禁止されており、校務のクラウド化は達成されていない。

(3) 勤怠管理システムの導入

令和5年8月に実施した校務支援システムの更新を契機に、勤怠管理システムを導入し、「紙による勤怠管理」は原則廃止されている。

(4) DXを活用した教育委員会との連携

教育委員会内に学校へ導入している校務端末及びグループウェアを配備し、教育委員会とのデジタルによる、各種調査や申請書などの書類の受け渡し、FAX廃止など、校務のDXが着実に進んでいる。

(5) 学校・保護者間連絡手段のデジタル化

令和4年度に既存の旧ソフトウェアから現在のものへ入替を行い、データの添付機能などを実装し、学校現場が利用しやすいものを導入した。

2 本区における「校務DX」計画

(1) 校務系ネットワークと学習系（GIGA）ネットワーク統合の検討

本区は校務系ネットワークを令和5年8月に更改しており、令和7年度末に更改を控える学習系（GIGA）ネットワークの更改とタイミングが一致していない。

次回の校務系ネットワーク更新（令和10年度予定）に向け、学習系（GIGA）ネットワークとの統合及び教員用端末の一本化を検討していく。

また、教員用タブレット端末（1人1台端末）についても、NEXTGIGAでは学校職員への配備も十分に検討し、学校内での会議・研修の場を含め、タブレット端末を十分に活用したペーパーレス化を進めていく。

(2) 校務のクラウド化

(1) のとおり、本区は校務系ネットワークを令和5年8月に更改したが、校務のクラウド化に関しては、手当てを行っていない。

校務のクラウド化についても、校務系ネットワークと学習系（GIGA）ネットワーク統合と同様、次回の校務系ネットワーク更新に向け、検討を始めるほか、校務でのクラウド利用を禁止している学校教育情報セキュリティポリシーの見直しを計画的に行っていく。

そのほか、校務支援システム上にダッシュボード機能を搭載し、可能な限り児童生徒情報の一元管理を進めているが、一部、手入力やデジタルでの出力ができない部分もあるため、改善に向けて検討・事業者との折衝を行う。

2 本区における「校務DX」計画

(3) 勤怠管理システムの運用

令和5年8月に実施した校務支援システムの更新を契機に、導入した勤怠管理システムであるが、学校現場からの意見や本格稼働により浮かび上がった課題に対しても改善・検討を行い、よりよいシステムの提供を行っていく。

(4) デジタル化された学校・保護者間連絡手段の更なる機能強化

概ね学校現場の要望に沿った運用になっているが、「教育委員会から保護者への連絡」など、校務負担の軽減に資する付属機能の導入について、学校現場の意見も踏まえながら、検討を行っていく。

(5) その他

校務系端末でのMicrosoft365（Teams・OneDriveなど）解禁を検討することや、教員一人ひとりへの個人メールアドレス配付の検討など、学校現場の声に耳を傾けた検討を引き続き行う。

また、学校におけるICT活用に係る情報の一元管理や必要なときに必要な情報にアクセスできるようSharePointを活用したサービスの導入を進める。

その他、各申請書の見直しや運用方法の改善を随時行っており、各様式の押印の廃止などはすでに進めているが、今後も校務の効率化を図っていく。